

キャリア講話「パン屋のはなし」 R4. 1. 19

能美市のドイツパン専門店「フロートルーフ ビオベッカライ」より池見藍さんを講師にお招きし、大学生時代のドイツ留学や、その後のドイツでのパン修行、そして、パンづくりやお店開業への思いなどについて…インタビュー形式でお話していただきました。



一番心に残っていることは「どこに行くにしても何をするのかを決める」ということだ。僕は今まで実行するときに目標を決めていないことがあった。池見さんの言葉で、目標を作ることの大切さを知った。



まず、ドイツに行ってパン屋をやろうと思ったこと、そして他の人がやっていないことをしたいという考えを持っていたのがすごいと思うし、必要なことだと思った。海外へ行き、得られる変化は、今の自分達や日本にもとても必要で大切なことだから、そういう考えをもち、行動できる人になりたいと感じることができた。

「ノートをきれいに書こう」など、小さなことでもいいから“挑戦する”ということを学ぶことができた。あきらめないこと、挑戦することを忘れずに、これから生活していきたい。立派な大人になれるように精一杯頑張りたい!!

講演会を終えて、今までずっと、将来の夢とか、小さい時からなりたかったものを、今でもなりたいかもわからずに言ってきたけれど、例えばお話の中にあっただ「ドイツのパンに衝撃を受けて…」のように、少しの驚きと、不思議に思う気持ちとかで、ちゃんと自分のやりたいこととかを決めようと思った。留学のお話とか、パンのお話とか、知らなかったことがたくさんあって、面白かった。



いきなり大きな目標はプレッシャーが大きいから、小さな目標からやるっていうのがいいなって思った。ドイツの話が個人的に好きだった。いつかドイツに旅行してみたい。ドイツパンを食べてみたい。



「無理して将来を決めずに、小さい目標でもいい。」という言葉が一番印象に残っている。私自身まだ夢が決まっていなくて「決めなければ」と焦っていた。けれど、その言葉を聞いて少し安心したし、小さい目標から少しずつ自分の行動を見直していこうと思った。